

平成 29 年度 第 1 回学校協議会 議事録

1 日 時：平成 29 年 7 月 6 日（木）14 時 00 分～15 時 30 分

2 会 場：三国丘高等学校 校長室

3 出席者：

[委員] 中尾俊治委員、井上博史委員、坂部弘重委員  
今西邦夫委員、中村誠委員

[学校側] 山口智子校長、高崎克司教頭、小笠原達治事務部長、  
中山潔首席、恩智理指導教諭、北出眞理教諭、吉田まちの教諭、  
大塚雅之教諭、吉田憲司教諭、崎谷恵美教諭、小澤宏太教諭

4 次第

- ① 校長挨拶
- ② 出席者紹介
- ③ 学校協議会実施要綱について
- ④ 会長の選出

⑤ 議事 協議要旨

(1) 平成 29 年度学校経営計画について（報告）

（委員）今年度から英語は 4 技能型授業をされているがどのようなものですか？

（学校）今年度から英語は 4 技能型授業として開講している。これまで TOEFL 型授業として行っていたことを整理した。すべての授業ではなく、昨年の TOEFL 型授業同様、週に 2 回としている。目標や意識付けは、シラバスとして 3 年間を通した Can-do リスト形式のものを作成しており、生徒にも配布している。随時見直しも行っている。

(2) CS 及びスーパーグローバルハイスクール（SGH）今年度の取り組みについて（報告）

（委員）最初は理系だったので SSH を選択していた。途中で文系に転向したが、SGH に参加するのは可能でしょうか？

（学校）コアの SGH は 3 年間のプログラムとして行っているの、途中参加は難しい。オープンプログラムの講座に関しては、誰でも受講できるものがあるので、それは聴講も可能です。

（委員）SSH と SGH の関係性やシステムが分かりにくい。丁寧な説明をして、わかりやすくする努力してほしい。

（委員）SGH の 40 人枠というのは増えないのか？

（学校）海外研修のことを考えると難しい。

(3) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）今年度の取り組みについて（報告）

（委員）講師の先生方は、本校の SSH の「体感」の部分については理解されているのか？

（学校）打ち合わせでお話はさせてもらっているの、理解していただいていると思っている。

（委員）生徒が体感したことを、今後どう生かしていくのか？

（学校）今後の進路をはっきりさせるために行っています。「なんでもいいから（消極的な）理系」という生徒でなく、「これをしたいから（積極的な）理系」といった生徒を育てたいと思っています。今後、それをどう判断・評価していくのが課題です。

(4) 各学年の状況について

- (委員) それぞれの学年で、意欲や主体性を育てながら進路実現のために工夫されていると感じた。
- (委員) 中学時代は優秀だった生徒たちが本校 1 年生となり、打ちひしがれている子もいるかと思うが、そういった生徒のサポートはどのようにしているのか？
- (学校) 打ちひしがれている子はいると思う。その機会に、点数にこだわるのではなく、その原因は何なのかを考えるようにと話をしている。また、夏期休業明けの実力テストでは学年順位も出るが、そこでも順位へのこだわりではなく、休み中のどの態度がどういう結果につながっているか考えさせたい。
- (学校) 今年度から自己分析シートを導入してみたが、中学校の勉強スタイルだけではだめなのだというきっかけづくりとして行った。中学校までは、与えられたものをこなしていれば好成績が取れた。高校では与えられたものだけではなく、主体的に勉強をすると必要があることを認識させたい。継続して行っていく中で、生徒の中に変化や気付きがあればいいと思っています。
- (委員) 自己分析シートなど、いい取り組みだと思います。なにより担任の先生の生徒理解が大切になるので、ぜひ継続的に生徒と関わってあげてほしい。悪いことだけでなく、いいことでも学年集会などを行ってもいいのではないかな。

(5) 平成 29 年度進路結果について（報告）

- (委員) きめ細かいデータで分かりやすい。本校に入学してきた時点で高い志を持たせ、3 年間を通して目標を下げさせない指導が大切。現役志向・通学圏内志向もあるとのことだが、高い目標を持たせる指導を継続して行ってほしい。

(6) 平成 30 年度使用教科書選定について（報告）

特に質疑なし

(7) その他

- (委員) 立場上、意見はたくさん出させてもらったが、三国丘高校の活動には感心し、安心している。特に SSH には期待している。
- (委員) 今年から学年の状況を聞かせてもらう機会があり、彼らも普通の生徒なのだと安心した。SSH や SGH の優秀な生徒の姿勢が、学校全体に広まっていくことが望ましい。SSH や SGH の活躍などはもっと中学生に分かりやすい形でアピールするものがあればいいと思う。